


平成 31 年 3 月 2 日

平成 30 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	一橋大学大学院社会学研究科	職名	博士後期課程大学院生	助成金額	20 万円
氏名	吉田晋也				
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）					
アメリカ合衆国におけるアジア系移民と帝国日本の政治的関係に関する研究 —その歴史的起源をめぐって—					
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
○研究の目的 本研究は、アメリカ合衆国(以下、アメリカ)におけるアジア系移民の対日認識がどのように形成されたのかを歴史的視座から明らかにするために、その萌芽が帝国主義国家として国際的に台頭した日本の動向にあるものと仮説を立てた上で、20 世紀転換期における中国人移民社会の様相を一つの事例として分析することを目的とした。					
○使途 助成金はアメリカへの移動費用(航空券代・電車賃)と宿泊費に充てた。滞在期間は 2018 年 7 月 1 日-7 月 19 日。					
○調査地 1) University of California, Berkeley Ethnic Studies Library Bancroft Library 2) San Francisco State Library 3) Chinese Historical Society of America					
○成果 今回の調査では、特に 1) University of California, Berkeley で多くの関連史料を入手することができた。それらの史料を分析した結果、当該時期アメリカにおける中国人移民指導者や知識人らは、必ずしも全面的に日本を敵対的な存在として捉えていたわけではなく、人種の問題において自己の利害に関わる場合は、日本に同調する立場を取っていたことが判明した。この事実は、中国人移民がほぼ一貫して日本に対抗的な行動を取っていたかの如く描写してきた既存の先行研究に対して新たな解釈を提供するものである。今後は、成果を論文に投稿する予定でいる。					
助成金の使用金額及び使途					
○助成金の使用金額および使途 (1 ドル=約 110 円で計算) 【移動費】 125,000 円程度 ・航空券費用：118,270 円 ・その他移動費用(主に電車賃) 【宿泊費】 約 157,661 円 ・Berkeley Inn (2019 年 7 月 1 日-2019 年 7 月 6 日)：4,3248 円 ・Nash Hotel (2019 年 7 月 7 日-2019 年 7 月 13 日)：8,6913 円 ・Adelaide Hostel (2019 年 7 月 14 日-2019 年 7 月 18 日)：2,7500 円 超過分は申請者が自己負担した。					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
1) 「20 世紀初期における中国系移民の日本認識」、日本アメリカ史学会「第 15 回年次大会自由論題報告」、日本女子大学目白キャンパス、2018 年 9 月 23 日。(口頭発表、査読有) 【URL】 http://www.jaah.jp/2018/08/1543.html 2) 「20 世紀転換期アメリカにおける中国人移民と「日本」-日清・日露戦争に着目して-」、中国現代史研究会「中国現代史研究会 2 月例会」、明治大学駿河台キャンパス、2019 年 2 月 1 日。(口頭発表、査読無)					